

## 【第1号議案】

# 令和6年度事業報告

## 【事業概要】

令和6年度の事業実績は、請負・委任事業では受注件数3.3%減、就業延人員1.4%増、契約金額0.3%増となり、派遣事業では受注件数は昨年度と同数でしたが、契約金額は17.4%増加しました。請負・委任及び派遣事業全体の年間就業率は2.6ポイント、特別会員を除いた年間就業率は3.8ポイント、それぞれ昨年度を上回り、請負・委任事業のみの年間就業率も昨年度を3.2ポイント上回ることができました。

昨今のシルバー人材センターを取り巻く環境は、事業所等の定年年齢の引き上げなど厳しい状況が続いており、令和6年度末現在の会員数は1,249人（男性684人、女性565人）と昨年度比9人減となりました。しかし、少子高齢化が急速に進展している中、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要になっています。このため、本センターにおいても就業機会の拡大、会員の加入促進に向けた取り組みを継続して実施することが必要です。

また、国の補助事業である「未就業会員への就業環境整備事業」では、輸送専門事業者を活用して西山地区の未就業会員を「みんなの農場」やセンター事務所などの就業場所へ送迎することで集合就業を行いました。

ワークプラザ柏崎の管理・運営については、利用件数、利用者数とも昨年度を上回り、延べ6万人を超える方から利用していただきました。これからもロビーマルシェなど自主事業の実施、施設のPRを図るなど、安全で安心して利用していただける快適な施設となるよう努めてまいります。

1 登録会員（年度末） 1,249人 （男684人 女565人）  
男女比 男54.8% 女45.2%

### 2 事業実績

(1) 請負・委任	受注件数（新規）	6,921件（3,381）	昨年度比
(2) 請負・委任	就業延人員	74,174人日	1.4%増
(3) 請負・委任	配分金	278,470,867円	0.6%増
(4) 請負・委任	契約金額合計	360,916,097円	0.3%増
	（内訳）		構成比
	公 共	107,305,705円	29.7%
	民間企業	157,734,049円	43.7%

一般家庭	59,438,308円	16.5%	
独自事業	11,823,265円	3.3%	
介護保険	24,614,770円	6.8%	
(5) 一般労働者派遣事業			
受注実件数	132件	昨年度比	
契約金額	126,890,380円	17.4%増	
(6) 請負・委任 職群別構成比			
管理的職業	0.0%	専門的技術的職業	0.0%
事務的職業	0.5%	販売の職業	3.0%
サービスの職業	38.8%	保安の職業	0.0%
農林漁業の職業	8.4%	生産工程の職業	1.6%
輸送機械運転の職業	0.0%	建設採掘の職業	0.0%
運搬清掃包装等の職業	47.7%		
(7) 請負・委任・派遣 年間就業率			77.7% (昨年度75.1%) 2.6%増
特別会員118名を除いた年間就業率			85.8% (昨年度82.0%) 3.8%増
請負・委任のみの年間就業率			67.6% (昨年度64.4%) 3.2%増

## 【部会概要】

### 企画推進部会

#### 1 会員研修会の実施

令和6年6月19日（水）定時総会の際に会員研修会を実施しました。

内容は「～終活セミナー～ 家族があわてないための準備や断捨離について」で、株式会社柏善社 代表取締役専務 横村充隆様からお話いただきました。

#### 2 クリーン作戦の実施

シルバーだより折り込みチラシやメッセージ配信で全会員に呼びかけ、令和6年10月19日（土）8時から中央海岸のごみ拾いを実施しました。会員33名、職員7名の参加でした。参加会員には粗品と参加ポイントを付与しました。

#### 3 会員募集・普及啓発PR活動の実施

令和6年10月16日（水）柏崎信用金庫様主催「年金友の会」の講演会に赴き、参加者に入会募集のパンフレット配布を行いました。

令和6年10月26日（土）、27（日）に開催された「シニアじまん展」では女性活躍部会と協力し、来場者へPRを行いました。柏崎市シルバー人材センターの概要説明の動画を映写し、会員の就業状況の写真展示、なんでも相談コーナーを設置し、来場者の相談に対応しました。女性活躍部会は手芸のワークショップを開催し、好評でした。

#### 4 会員研修旅行の実施

「シルバーだよりかしわざき」折り込みチラシやメッセージ配信で全会員に呼びかけ、令和6年10月24日（木）新潟市方面の会員研修旅行を実施しました。会員29名、職員2名の参加でした。

いくとぴあ食花での施設見学、新潟ふるさと村での昼食とショッピング、白根グレープガーデンでぶどう狩り、道の駅花夢里にいつでショッピングを楽しみ、帰りのバスの中ではおたのしみ抽選会も実施しました。

途中、会員研修旅行についてのアンケートも行いましたので、今後の会員研修旅行の参考にしたいと思います。

#### 5 生活に役立つ講習会と会員忘年会の開催

令和6年12月21日（土）14時30分からシーユース雷音にて、「マイナンバーカードで暮らしをもっと便利に」というテーマで講習会を開催しました。講師は柏崎市企画政策課阿部氏で、ご本人の意見なども交えながら質問にも答えられました。講習会参加者は32名でした。

会員忘年会は16時から18時頃まで行いました。参加者は職員を含み42名でした。来賓は柏崎市長がお越しになり、ご挨拶をいただきました。

セミプロの生演奏でなつかしの曲を聴き、会員のコーラスも披露されました。おなじみのビンゴ大会も行われ、和やかな会となりました。

#### 6 「柏崎シルバーボランティアの会」の活動に協力

企画推進部会が立案し、ボランティア活動で社会参加、社会貢献活動の推進を目的とした「柏崎シルバーボランティアの会」では、主に「駅前STAY-tionぷらっと」での店番ボランティアの活動に協力しています。現在20名の方が参加しています。

### 広聴広報部会

令和6年6月19日（水）の定時総会で確認された事業計画に基づき、令和6年度のテーマとして4項目を重点に掲げ、活動した結果を報告します。

#### 1 広報誌「シルバーだよりかしわざき」の編集発行

＊第128号 令和7年1月発行（12頁）

積極的に現場に出向き、会員の声が収集できる写真を多く取り入れ、出来るだけ見やすい工夫をして編集しました。

「シルバーだよりかしわざき」の刷新のため、新潟工科大学に協力を仰ぎ、ゼミの授業で新デザインを作成、第128号から使用しました。

新デザインによる第128号の発行に併せて、題字「かしわざき」を柏崎市出身の作家の横村出（よこむらいずる）氏にお願いしました。

#### 2 メディアの活用(情報の収集及び発信)

「シルバーだよりかしわざき」等による広報活動を実施しました。

ポイントカード(会員証)の利用促進をPR、フレンドショップの活用等を行いました。

柏崎市シルバー人材センターの活動について、Instagramによる情報発信及び「シルバーだよりかしわざき」等による広報活動を実施しました。

### 3 周知活動(イベントチラシの作成)

フレンドショップの活用・拡大、各種行事の案内

### 4 入会案内資料等のPR

オンライン入会の利用促進として、「シルバーだよりかしわざき」の表紙にホームページの二次元コードを掲載しました。

## 女性活躍部会

1 女性会員拡大の一環として、企画推進部会と合同で老人クラブ連合会主催のシニアじまん展に参加しました。「フェルトで作る小物入れ」のワークショップを開催し、来場者と交流しながらシ柏崎市シルバー人材センターのPRを行いました。また、イベント会場にて入会案内チラシを配布しました。

2 女性会員の就業スキルの向上と、交流の場として各種講習会を開催しました。また、未入会の方も参加できるシルバー人材センター説明会&お菓子づくり講習会を企画し、入会促進を図りました。

・プリザーブドフラワーアレンジ講習会 ・料理講習会 ・お菓子づくり講習会

3 折り紙サークル活動を月1回通年で開催しました。季節に合った作品を試行錯誤しながらも楽しく作りました。

4 女性会員同士のつながりを深めるため「女性会員の集い」を開催しました。講師による笑いヨガで体をほぐした後、茶話会を開き和やかな雰囲気の中、活発に意見交換を行い、会員相互の親睦を深めるよい機会となりました。

5 女性会員の就業機会拡大のため、コメ袋エコバッグ、虫よけトンボ、米ぬかカイロの制作に取り組みました。

6 さいたま市で開催された「シルボンヌ全国大会」に参加し、鯛茶漬の素や会員制作の米袋をリサイクルしたエコバッグ・ポチ袋、笹団子ストラップなどを販売しました。たくさんの方に注目していただくことができました。

## 安全衛生部会

令和6年度は、「危険予知 作業前にまず確認が現場の基本」をテーマに掲げ、安全への取り組みを進めてまいりました。

今年度の事故発生件数は、傷害事故2件、賠償事故2件、労働災害1件の合計5件で、昨年度と比べて3件の減少となりました。

安全パトロール活動においては、庭木の剪定作業時に使用される三脚はしごの使い方に重点を置いて点検を実施しました。その結果、三脚から身を乗り出して作業を行う、あるいは開き止めがたるんだまま作業を行うといった危険な行為が、昨年度と比較して改善されていると感じられました。

また、令和7年3月には、職群班安全研修会を実施しました。今回は、外作業に従事する職群班に所属するすべての会員に参加を呼びかけました。研修会では、令和6年度の事故報告や安全パトロールの講評に加え、E I C保険エージェンシーの小林氏をお招きし、就業中のマナー・接遇に関する講話を行っていただきました。令和6年度の主な活動内容は以下の通りです。

- 1 安全目標の掲示、周知
- 2 安全掲示板の設置
- 3 シルバー5 S運動の周知
- 4 職群班ごとに安全担当会員を選出
- 5 作業前朝礼時、「声だし運動シート」による安全唱和の実施
- 6 「安全・適正就業ミーティングチェックシート」を活用し作業前点検の実施
- 7 安全パトロールの実施
- 8 安全就業達成証及び安全マークの発行
- 9 安全就業通信及び季節ごとの注意喚起文書の配布
- 10 安全就業シールの配布
- 11 「作業中」と表示した看板を屋外作業班に配布
- 12 ヒヤリハット事案を募集
- 13 連合会主催の「安全・適正就業研修会」へ参加
- 14 「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- 15 作業現場に同行しての安全指導を実施
- 16 救急箱の点検、補充
- 17 「刈払機取扱作業員」に関する安全衛生教育の取扱安全講習会を実施（13名）
- 18 家族への就業先明確化の徹底
- 19 事故等取扱基準（ペナルティ制度）の適用
- 20 職群班安全研修会を開催
- 21 安全就業通信、事故件数のメッセージ配信

このように多くの安全活動を実施し、安全への意識高揚に努めました。